1994 年 2 月 28 日 第三種郵便物認可 2022 年 12 月 15 日発行 ＴＳＫ通巻第 2809 号 きゅうどうしゃ第 69 号

TSK きゅうどうしゃ

No.69

編　集：社会福祉法人求道舎
〒039-2516　青森県上北郡七戸町字舘野 32-15　TEL：0176-62-3631　　FAX：0176-62-3694
E-mail：kyudosya@ruby.ocn.ne.jp　　ホームページ：http://www.kyudosya.jp

救い主を待ち望む

田名部教会 牧師 内田 光生

マルコによる福音書1章1節は次のように始まります。

「神の子イエス・キリストの福音の初め」

難しい文章ではありません。知らない言葉はありません。何か当たり前過ぎて心に残らないのではないでしょうか。それよりも、ヨハネによる福音書1章1節の「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった」という聖句の方が心に残る人が多いのではないでしょうか。

ですが、「神の子イエス・キリストの福音の初め」という言葉も、私たちに信仰の奥深さを教えて下さる味わい深いみ言葉なのです。

「聖書 スタディ版 分かりやすい解説つき聖書 新共同訳」では、次のように解説しています。

「最初の1節が福音書の内容を示している。『神の子イエス・キリストの福音』。残りの全部がなぜこの言葉が真実であるかを語っている。イエスは自分の行動と言葉で、真実に自分が神の子であることを示した」。

つまり著者のマルコが一番書きたかったことが、1章1節に凝縮して書かれているのです。

○「神の子」とは、どんな意味があるのでしょうか。

内田 光生牧師

旧約聖書では、イスラエルの民全体を「神の子」と呼ぶ例もありますが（出エジ4：22）、多くの場合、イスラエルの国を治める王様のことを、「神の子」と読んでいました。称号として使っていました。

新約聖書では、「神の子」は、「メシア」「人の子」と共にイエス様に対する呼び名として用いられています。「神の子」は、イエス様と父なる神様との特別な関係を表わしている言葉なのです。

そして「天にましますわれらの父よ」と聖霊によって祈る時、私たちは神の子となれるのです。

○「キリスト」とは何でしょうか？

皆様は、ハレルヤコーラスで有名な「メサイア」という曲を知っていると思いますが、メサイアという言葉の意味を知っているでしょうか。

メサイアは、英語の言葉で、Messiah と表記します。メシアと読めます。メシアとは、ヘブライ語から生まれた言葉で、「油注がれた者」という意味です。イスラエルの国では、王様が就任する時オリーブを注ぎました。（サム下2：4）その後、メシアとは、国を治める理想的な王様を示すようになりました。さらに、神様の決定的な救いをもたらす「救い主」を指すようになりました。

新約聖書では、人々はローマ帝国から政治的に解放して下さるメシア、救い主を待ち望んでいました。

ヘブライ語のメシアは、ギリシャ語では、クリストス（キリスト）と訳されました。次のように理解すると良いと思います。

メシア＝キリスト＝メサイア＝救い主

イエス様は、政治的な救い主ではなく、十字架の死によって、私たちの罪から贖い、救われる救い主なのです。それこそが福音なのです。ですから、イエスはキリストなのです。イエス・キリストなのです。また、イエス様は救い主、と私たちは聖霊によって信仰告白をすることができるのです。

待降節、救い主イエス様のご降誕を祈りつつ待ち望みます

「創業の精神―キリストの愛」を考える

求道舎 理事長 小原義夫

今回は掲題の通り、当法人の創業の精神を振り返ってみます。創業者の故中津徳平氏は、根っからのクリスチャンでした。父、徳太郎氏は、七戸教会の創立に関わった方ですし、ご本人徳平氏も、七戸教会を長年に亘って中心となって支えました。施設を立ち上げるに当たって、キリスト教の教えをその心の支えとされ、運営の基本理念として明文化されたのは当然だったでしょう。

創立から暫くの間は、知人・友人が施設を助けてくれたので、クリスチャンの職員が少なくありませんでした。しかし、利用者が増え、職員も一般公募して採用する頃から、個々人の信条まで揃えることは出来なくなります。「信仰によって人を差別することは出来ない。」は法律でもあります。現在、求道舎の職員は、理事長を除いて、全員、非クリスチャンです。それで、法人の理念は守られるのか?と素朴な疑問を持たれる方もいるでしょう。

「キリストの愛」と言えば、端的に、イエス・キリストが自らの命を捨てて、人々の罪の許しを神に取りなしてくれたこと、と言えるでしょう。これは、窮極の愛の表現ですが、ここまで行かなくとも愛にはいろいろな姿があることを、聖書は教えています。コリントの信徒への手紙一の13章は有名です。「4愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。5礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。6不義を喜ばず、真実を喜ぶ。7すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。」また、ローマの信徒への手紙12章15節には、「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」とあります。難しいことですよね。

当法人のある職員が、理事長面談で、一年間の計画を話し合った時、「私は今、愛に溢れています。」と話し始めたのには、驚き、心が震えました。一方では、キリスト教を勉強する職員集会に、なかなか出席しない職員に、施設長が「ちゃんと出席して欲しい。」と話したら、「宗教を強制していいのか?」と逆襲された逸話も伝わっています。この職員は既に退職しましたが。

「愛の精神を持って」というのは、優れて心の問題です。前に触れたコリントの信徒への手紙一の13章1―3節を引いてみます。「1たとえ、人々の異言※、天使たちの異言を語ろうとも、愛がなければ、わたしは騒がしいどら、やかましいシンバル。2たとえ、預言する賜物を持ち、あらゆる神秘とあらゆる知識に通じていようとも、たとえ、山を動かすほどの完全な信仰を持っていようとも、愛がなければ、無に等しい。3全財産を貧しい人のために使い尽くそうとも、誇ろうとしてわが身を死に引き渡そうとも、愛がなければ、わたしに何の益もない。」とあります。私たちは、どんな行いも心からの思いやりから出ていなければ何にもならない、というこの聖句を確認することで十分ではないでしょうか。クリスチャンであろうがなかろうが、接する対象が障がい者であろうがなかろうが、心からの思いを持って接すること。これが「キリストの愛の精神」を、生身の人間である限界を持ちながら、体現して行く道ではないのかと思っています。

（※異言：宗教的な恍惚状態に入った時に発する不可解な言葉をさす。それは霊の賜として認められている。）

最後に、クローバー作業所の食堂に掲げられている、「聖フランチェスコの祈り」の一部を復唱して終わりにいたします。

主なる神よ、
慰められるよりは　慰めることを
理解されるよりは　理解することを
愛されるよりは　愛することを
わたしが求めるようにして下さい
わたしたちは
与えることによって受け
ゆるすことによってゆるされ
死ぬことによって　永遠の生命へと
よみがえらされるのですから。

（終わり）

〈求道舎の基本理念〉
本法人は、キリスト教主義に基づく隣人愛の精神を基盤とし、利用者ひとりひとりが地域で幸せに暮らして行くことができるために、誠実に事業を進めて行く。

事務局長、施設長の交代

組織の活性化を図る

四月に人事異動がありました。中津一洋がクローバー作業所施設長から求道舎本部の事務局長に、棟方朋彦が法人事務局次長（グループホームたんぽぽ管理者兼務）からクローバー作業所の施設長に異動しました。求道舎の組織をより活性化する狙いです。中津事務局長は野辺地町から七戸町に、棟方施設長は七戸町から野辺地町にと勤務地も替わりました。

中津一洋事務局長

おおばこ・クローバー両作業所の利用者や職員の皆さんに助けられ、七戸に来て何とか８か月が経ちました。まだまだ不慣れな事も多く、ヤクルトを毎晩飲みながら頑張っています。

最近、人の名前や頼まれ事を忘れることが多くなりました。忘れないようにメモしても、そのメモをどこに書いたか忘れてしまう始末。先日は家で暖房をつける際、エアコンに向けて持っていたのはテレビのリモコンでした。

今原稿を書いている横で、同じ年の施設長が、落花生を食べてむせ込んでいます。40歳前半は初老と言われますが、まさに体感している今日この頃です。

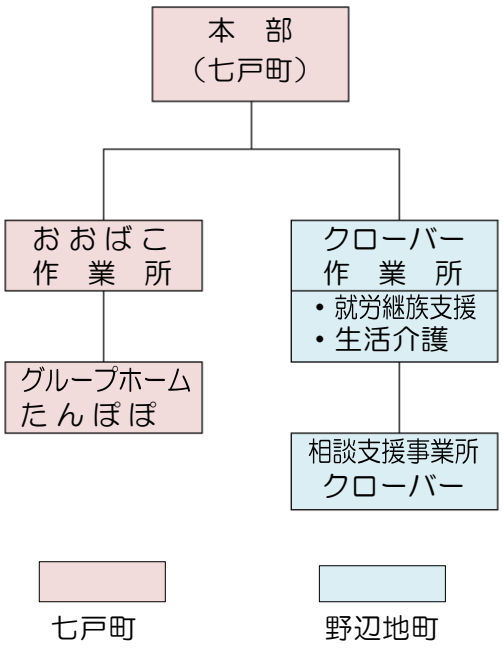
皆さんが働きやすい環境になるように初老でも頑張りますので、今後ともよろしくお願いします。

棟方朋彦施設長

４月よりクローバーの施設長になりました棟方朋彦です。２００３年に七戸のおおばこ作業所で働き始めてから初めての異動となり、クローバーでの仕事が始まって、数か月が経った今感じていることは、就労継続支援Ｂ型と生活介護、そして相談支援も行っている事業所ということもあり、利用者さん１人１人にあった支援の重要性です。限られた職員で最適なサービスを提供することは難しい時もありますが、佐藤次長をはじめとした職員の皆さんと協力して、利用者さんや家族の方から良い支援をしていると認められるよう頑張りたいと思います。

最後に２名の新職員が11月から勤務しています。新体制となったクローバーを今後もよろしくお願いします。

求道舎組織



おおばこ作業所

【アーティスト】

太田光さんの絵「オレのキャラクター全員集合75Ｓ」が、青森県の「ありのままの表現展２０２２」で入選しました。県立美術館に展示され、総勢75人のキャラクターが丁寧に描かれた作品です。普段から描きためていたものが一つの形になりました。おめでとう！

お母さんと（青森県立美術館）

【キッチンカー・フェスティバル】

青森県の工賃向上支援事業の一つとして、移動販売車による販売に参加しました。商品の展示方法も、ポップや飾りつけを工夫し職員もユニフォーム姿での販売でした。他のキッチンカーも参加していましたが、それら専門店に引けを取らない本格的な販売でした。

移動販売車で（青森市）

クローバー作業所

【春フェス＆夏フェス！】

毎日作業を頑張っている利用者さんにリフレッシュタイムということで、春はお花見、夏はバーベキューを企画しました。コロナ禍で、まだ遠くへのお出かけは出来ませんが、近くの公園や、作業所内外で、食べて遊んで沢山笑ってみんなで楽しく過ごしました。今後のフェスもお楽しみに！

農福連携の取り組み

農家さんとの協働を目指して

にんにくの作業

農福連携とは、「働き手の不足に悩む農業者と、障がいなどを理由に働く機会を得られない人々をつなぐ取り組み」のことです。求道舎では、青森県が推進するこの取り組みに参加しています。

10月にお隣りの十和田市の農家の作業場に、福祉事業所や市町村の担当者が集まり、実際の作業を見学し検討会が開かれました。

当日はおおばこ作業所が、作業モデルを務めました。

農家の方は、作業態度を評価してくださり受け入れに積極的ですが、事業所では、「職員の人手が足りない、農作業の時期がかぶる」等、マッチングが容易ではないという課題があるようです。まだまだ、始まったばかりの取り組みですが、今後の動きに注目です。

ネギの作業

クローバー作業所新任職員紹介

天間　一晃

11月からクローバー作業所に職業指導員として勤務することになりました天間一晃です。少しでも早く利用者のためになる支援ができるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

機関紙の発行時期について

来年度から「きゅうどうしゃ」の発行時期を変更いたします。年2回の発行は変わりませんが、7月と1月の発行となります。現在より1か月遅くなります。

また、今まで同一住所で、個人とお店、法人本部と事業所など2通送付していたところもありましたが、1通とさせていただきます。ご了承ください。

もし今まで通りに送ってほしいという方がございましたら、ご連絡下さるようお願いいたします。

編集後記

ロシアとウクライナの戦争はいまだ終結を見ません。新型コロナも終息を見ません。戦いがいつ終わるのか、マスクを外すことができる日がいつ来るのか、まったく予想ができません。それでも利用者さんのため求道舎の働きは続きます。がんばります。（伊瀬谷秀史）

編集者　社会福祉法人求道舎　〒039-2516　青森県上北郡七戸町字舘野32-15　℡0176-62-3631
発行所　東北障害者団体定期刊行物協会　〒980-0874　宮城県仙台市青葉区角五郎1-12-6　頒価100円